

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス エンジェル守山Ⅱ勝部		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	毎日、違うイベント内容を発案し飽きや固定化がないようにしている。	工作やクッキングなどは毎回違う工程を行えるように考え、感覚的な刺激をより多く受けられるようにする。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	送迎時には端的に子どもの様子をお伝えできるように常時、子どもの様子を共有している。 また連絡ノートを用いてデイでの様子を細かくお伝えできるように記載をしている。	必要であれば、学校や園、その他の障がい福祉サービスでの様子も共有していただき発達状況の理解を深めていく。
3	定期的にSNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報等をこどもや保護者に対して発信している。	毎日、インスタグラムを更新しデイでの様子、イベント内容が伝わるようにしている。	写真を多く載せることで、より状況や子どもの表情が伝わるようにする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていない。	日時、開催場所の確保が難しいことやプログラム内容の作成をすることで従業員への業務過多になり得るため。	同法人の事業所が増えているので、事業所間で話し合いを行い役割分担をすることで研修開催の業務を軽減する。
2	父母会や保護者会の開催ができていない。	働いている保護者さんも多くいるため、開催日時の設定が難しい。	対面だけを考えず、オンライン等を取り入れることで参加できる枠を増やし実現できるようにする。
3			